



OMRON

Sensing tomorrow™

**2012年度
第2四半期(上期)決算
投資家様向け説明会**

2012年10月31日

オムロン株式会社



目次

1. 第2四半期累計(上期)実績と通期見通し	
上期実績	… P. 2
通期見通し	… P.14
2. トピックス	… P.23
3. 参考資料	… P.31



2012年度 上期実績



【上期実績】

- VG2020戦略を着実に実行し、ほぼ計画どおりの売上を達成。
- 売上総利益率を計画比+0.9P向上。
- 戦略投資を実行しながら営業利益は計画達成。

(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比	2011年度 上期実績	前年同期比
売上高	3,042	3,085	△1.4%	3,033	+0.3%
売上総利益率	36.7%	35.8%	+0.9P	37.9%	△1.2P
営業利益	180	155	+16.1%	227	△20.8%
純利益	123	95	+29.2%	130	△5.6%



連結損益計算書

➤ 売上総利益率は計画値35.8%から36.7%へと向上。

(億円)

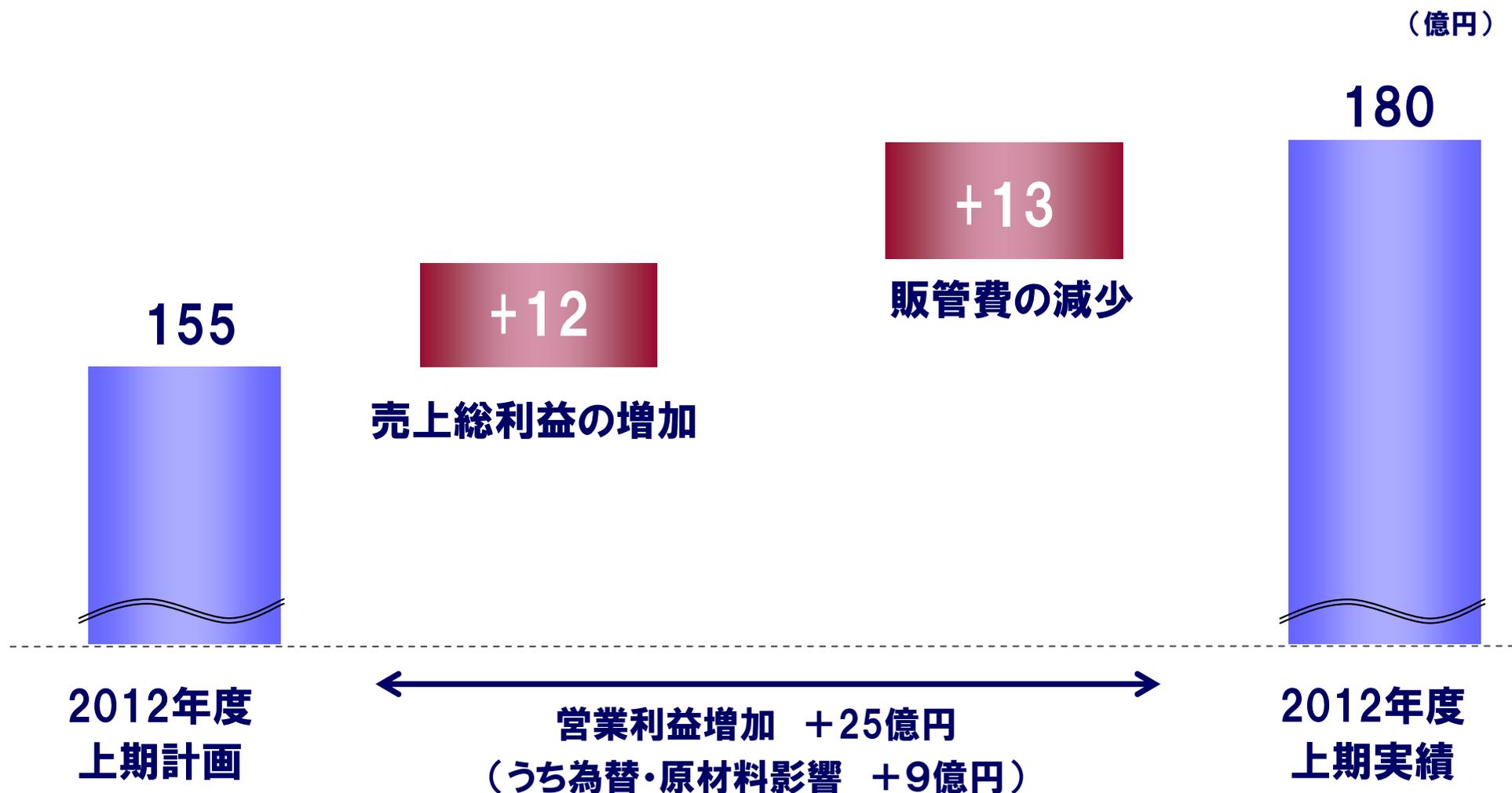
	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比	2011年度 上期実績	前年同期比
売上高	3,042	3,085	△1.4%	3,033	+0.3%
売上総利益 (売上総利益率)	1,117 (36.7%)	1,105 (35.8%)	+1.1% (+0.9P)	1,150 (37.9%)	△2.8% (△1.2P)
販管費	721	735	△1.9%	716	+0.7%
R&D費	216	215	+0.6%	207	+4.4%
営業利益 (営業利益率)	180 (5.9%)	155 (5.0%)	+16.1% (+0.9P)	227 (7.5%)	△20.8% (△1.6P)
営業外費用	8	10	△23.0%	16	△53.0%
税引前純利益	172	145	+18.8%	211	△18.3%
純利益	123	95	+29.2%	130	△5.6%

USDレート(円)	79.4	78.0	+1.4	79.7	△0.3
EURレート(円)	101.1	104.0	△2.9	114.1	△13.0
銅価格(円)	686	700	△14	759	△73
銀価格(円)	77,833	87,000	△ 9,167	98,485	△20,652



営業利益増減分析（計画比）

- 戦略投資を着実に実行しつつ、収益構造改革や慎重な経費運営により上期は営業利益計画を達成。





営業利益増減分析（前年同期比）

➤ 昨年度は震災影響で制御機器の一時的需要増があったため、今期は減少





連結貸借対照表

➤ 在庫水準は前年度末水準を維持し、在庫コントロールは着実に実行。

(億円)

	2012年9月末	2012年3月末	2011年9月末 (参考)
資産の部	5,147	5,373	5,192
現預金	495	453	452
売上債権	1,211	1,411	1,171
在庫	924	923	992
繰延税金、その他流動資産	284	295	300
固定資産	1,189	1,207	1,156
投資その他資産	1,044	1,085	1,121
負債の部	1,953	2,156	2,112
短期借入金	137	188	154
長期借入金	0	0	0
支払い手形及び買掛金等	699	793	767
退職給付引当金	586	604	623
その他負債	531	571	568
純資産の部	3,194	3,217	3,080
資本金・その他剰余金等	4,430	4,338	4,335
その他包括利益(損失)累計額	△804	△684	△818
自己株式	△445	△445	△446
非支配持分	13	8	9
負債及び純資産合計	5,147	5,373	5,192



連結キャッシュ・フロー計算書

➤ 着実に投資を実行しながらも、営業CFの増加により、フリーCFは増加。

(億円)

	2012年度 上期実績	2011年度 上期実績	(参考)2011年度 通期実績
営業活動によるキャッシュフロー	270	184	319
投資活動によるキャッシュフロー	△139	△116	△265
フリー・キャッシュフロー (FCF)	131	68	54
財務活動によるキャッシュフロー	△74	△336	△335
換算レート変動の影響	△15	△27	△15
現金及び現金同等物の増減額	42	△295	△295
四半期末の現金残高	495	452	453

設備投資	141	128	275
減価償却費	107	107	226

※設備投資額は、連結キャッシュフロー計算書の資本的支出を適用



事業セグメント別① 売上高

➤ 制御機器の売上減少を補う事業ミックスの良さを発揮。売上はほぼ計画どおり

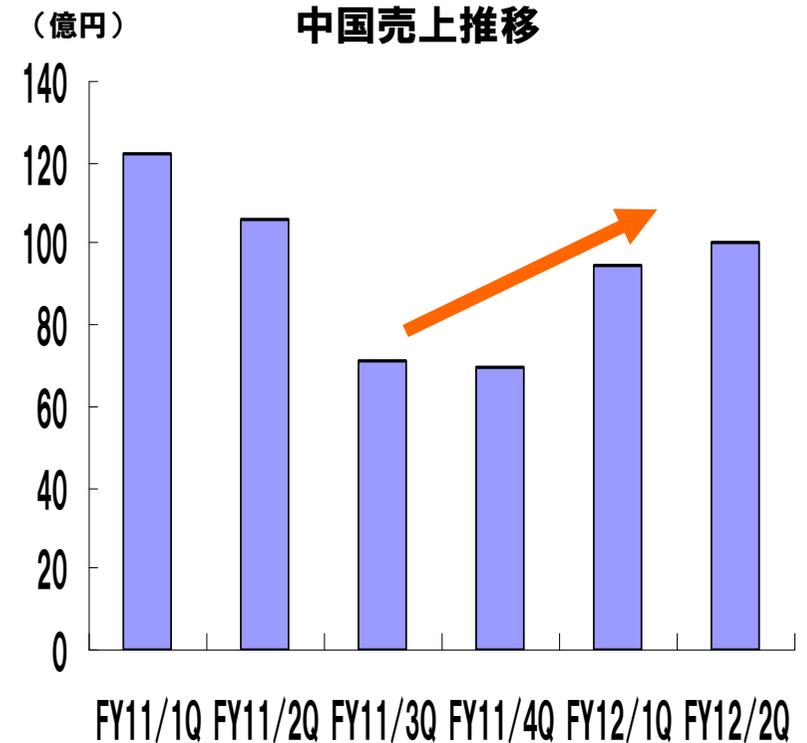
(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比	前年同期比
制御機器事業 (IAB)	1,299	1,330	△2.3%	△9.3%
電子部品事業 (EMC)	426	430	△0.9%	+4.5%
車載事業 (AEC)	473	470	+0.5%	+18.0%
社会システム事業 (SSB)	235	210	+11.8%	+14.8%
ヘルスケア事業 (HCB)	326	310	+5.0%	+10.9%
その他事業	255	310	△17.9%	△2.8%
消去調整他	28	25	+19.0%	△15.2%
合計	3,042	3,085	△1.4%	+0.3%

➤ 中国ではローカル資本顧客への深耕、および販売強化が奏功し、計画超えを実現。

(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比
日本	589	612	△3.8%
米州	163	163	△0.1%
欧州	231	255	△9.5%
中華圏	195	165	+18.1%
東南アジア他 (韓国含む)	121	135	△10.3%
合計	1,299	1,330	△2.3%



事業セグメント別② 営業利益

- 各セグメントで収益改善を進め、営業利益率を高めた。
- 社会システム事業は、営業活動を強化し計画を超過。

(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比	2011年度 上期実績	前年同期比
制御機器事業 (IAB)	147 (11.3%)	155 (11.7%)	△5.1% (△0.3P)	214 (15.0%)	△31.3% (△3.6P)
電子部品事業 (EMC)	32 (7.5%)	25 (5.8%)	+28.4% (+1.7P)	42 (10.2%)	△22.7% (△2.6P)
車載事業 (AEC)	28 (5.9%)	25 (5.3%)	+11.2% (+0.6P)	14 (3.6%)	+94.4% (+2.3P)
社会システム事業 (SSB)	△19 (-)	△45 (-)	- (-)	△35 (-)	- (-)
ヘルスケア事業 (HCB)	19 (5.9%)	15 (4.8%)	+27.7% (+1.1P)	21 (7.0%)	△7.3% (△1.2P)
その他事業	△6	△10	-	△20	-
消去調整他	△21	△10	-	△9	-
合計	180 (5.9%)	155 (5.0%)	+16.1% (+0.9P)	227 (7.5%)	△20.8% (△1.6P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率

事業セグメント別③ 売上高・営業利益概況(前年同期比)

セグメント	売上高、営業利益の概況 (前年同期比)	
制御機器事業 (IAB)	売上高	国内：自動車関連業界は、ほぼ前年同期並み需要で推移したものの電子部品・半導体業界が需要低調、景況感はやや悪化。 海外：欧州低迷するも、北米堅調。中国は昨年同期の震災需要影響あり。
	営業利益	震災影響の反動による売上高減少、投資実行などにより前年同期比減少。
電子部品事業 (EMC)	売上高	国内：民生業界の需要は横ばい低調に推移。自動車関連好調。 海外：中国や欧州では、民生業界の需要が減少。
	営業利益	円高やグループ内への売上の減少により前年同期比減少。
車載事業 (AEC)	売上高	国内：エコカー購入支援策や新型軽自動車の販売好調の影響で好調に推移。 海外：欧州での需要は低迷するも、総じて海外は好調に推移。
	営業利益	売上高の増加、前年同期の一時的な生産調整の反動で大幅増加。
社会システム事業 (SSB)	売上高	鉄道事業各社の需要が回復傾向。機器の納入および関連設置工事が拡大。 道路交通管理システムは横ばい。
	営業利益	売上高の増加により前年同期比で損失額が減少。
ヘルスケア事業 (HCB)	売上高	国内：家庭向け健康機器の新商品の販売が好調に推移。 海外：新興国での健康機器商品の需要の増加が継続、堅調に推移。
	営業利益	ユーロ安の影響により前年同期比で減少。
その他事業 (環境・バックライト・MD・電子)	売上高	環境事業は好調。電子機器は前年並み。マイクロデバイス、バックライトは低調に推移。
	営業利益	環境事業の売上高の増加により損失額は減少。



エリア別売上高

➤ 全社でも中華圏は計画を上回る。

(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 上期計画	計画比	前年同期比
日本	1,497	1,497	±0.0%	+6.6%
米州	396	402	△1.6%	+10.4%
欧州	363	380	△4.4%	△16.9%
中華圏	530	526	+0.7%	△3.7%
東南アジア他 (韓国含む)	257	280	△8.3%	△9.2%
合計	3,042	3,085	△1.4%	+0.3%



2012年度 通期見通し



エグゼクティブサマリ 通期見通し

【通期見通し】

- 通期でも事業ミックスでカバーし、売上は計画どおりを見通す。
- 通期の営業利益および売上総利益率も計画どおりを見通す。
- ROEも計画どおりを見通す。

(億円)

	2012年度 通期見通し	2012年度 通期計画	計画比	2011年度 通期実績	前年度比
売上高	6,500	6,500	+0.0%	6,195	+4.9%
売上総利益率	37.5%	37.5%	±0.0P	36.8%	+0.7P
営業利益	460	460	+0.0%	401	+14.6%
当期純利益	285	285	+0.0%	164	+73.9%
ROE	8.5%	8.5%	±0.0P	5.2%	+3.3P



第3四半期以降の外部環境

- グローバル経済は不透明感が増す
- 地域別の経済環境
 - 国内：景気の本格的な回復は早くとも来年度以降
 - 海外：欧州では景気停滞継続
 - 中国では景気減速感が継続
 - 新興国では底堅い経済成長による個人消費・設備投資の需要増

前提条件(為替／原材料価格の第3四半期以降の前提)

為替： USD … 79円
EUR … 102円

(前回見通し：USD … 78円、EUR … 97円)

1円変動による影響額(通期)

通貨	売上への影響額	営業利益への影響額
USD	約28億円	約7億円
EUR	約8億円	約4億円

原材料： 銀 … 85,000円/kg
銅 … 700円/kg

(前回見通し：銀 … 78,000円/kg、銅 … 700円/kg)

価格変動による影響額(通期)

原材料	変動額	営業利益への影響額
銀	1,000円/kg	約1億円
銅	10円/kg	約1億円



2012年度 通期見通し

➤ 通期の営業利益および売上総利益率は計画どおりを見通す。

(億円)

	2012年度 通期見通し	通期計画 (4月26日)	計画比	2011年度 実績	前年度比
売上高	6,500	6,500	±0.0%	6,195	+4.9%
売上総利益 (売上総利益率)	2,435 (37.5%)	2,435 (37.5%)	±0.0% (±0.0P)	2,279 (36.8%)	+6.9% (+0.7P)
販管費	1,520	1,520	±0.0%	1,457	+4.4%
R&D費	455	455	±0.0%	421	+8.1%
営業利益 (営業利益率)	460 (7.1%)	460 (7.1%)	±0.0% (±0.0P)	401 (6.5%)	+14.6% (+0.6P)
営業外費用	30	30	±0.0%	66	△54.5%
税引前四半期純利益	430	430	±0.0%	335	+28.2%
純利益	285	285	±0.0%	164	+73.9%
EPS(円)	129.47	129.47	±0.0%	74.46	+73.9%
ROE(%)	8.5%	8.5%	(±0.0P)	5.2%	(+3.3P)

USDレート(円)	79.2	78.0	+1.2	79.3	△0.1
EURレート(円)	101.5	104.0	△2.5	110.3	△8.8
銅価格(円)	693	700	△7.0	738	△45
銀価格(円)	81,417	87,000	△ 5,583	92,379	△10,962



事業セグメント別① 通期売上高見通し

➤ 通期でも事業ミックスでカバーし売上は計画どおりを見通す。

(億円)

	2012年度 通期見通し	2012年度 通期計画	計画比	2011年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	2,670	2,740	△2.6%	2,708	△1.4%
電子部品事業 (EMC)	875	890	△1.7%	830	+5.4%
車載事業 (AEC)	950	950	±0.0%	850	+11.7%
社会システム事業 (SSB)	660	600	+10.0%	572	+15.4%
ヘルスケア事業 (HCB)	695	675	+3.0%	624	+11.3%
その他事業	590	590	±0.0%	535	+10.2%
消去調整他	60	55	+9.1%	76	△21.1%
合計	6,500	6,500	±0.0%	6,195	+4.9%



事業セグメント別② 通期営業利益見通し

▶ 全セグメントの前年度比で営業利益率改善

(億円)

	2012年度 通期見通し	2012年度 通期計画	計画比	2011年度 実績	前年度比 営業利益率
制御機器事業 (IAB)	335 (12.5%)	350 (12.8%)	△4.3% (△0.3P)	333 (12.3%)	(+0.2P)
電子部品事業 (EMC)	80 (9.1%)	80 (9.0%)	±0.0% (+0.1P)	72 (8.7%)	(+0.4P)
車載事業 (AEC)	50 (5.3%)	50 (5.3%)	±0.0% (±0.0P)	27 (3.2%)	(+2.1P)
社会システム事業 (SSB)	25 (3.8%)	10 (1.7%)	+150.0% (+2.1P)	1 (0.2%)	(+3.6P)
ヘルスケア事業 (HCB)	45 (6.5%)	40 (5.9%)	+12.5% (+0.6P)	29 (4.7%)	(+1.8P)
その他事業	△5	△20	-	△36	-
消去調整他	△70	△50	-	△25	-
合計	460 (7.1%)	460 (7.1%)	±0.0% (±0.0P)	401 (6.5%)	(+0.6P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率



3Q以降の事業環境認識（FY12上期比較）	
制御機器事業 (IAB)	国内： 自動車関連設備投資がダウントレンド。半導体は多少改善 海外： 米州 …… 北米での自動車関連投資の堅調継続 欧州 …… 低調なものの、さらなる底割れ感無く、食品等は改善。 東南アジア …… 韓国の半導体が軟調なものの、タイで自動車堅調。 中華圏 …… 横ばいから、ややダウン。包装機で上期に比べ軟調。
電子部品事業 (EMC)	国内： 白物家電向け需要が堅調に推移 海外： 米州は、需要回復には至らず。中華圏・アジアは主に欧州向け輸出の影響を受ける
車載事業 (AEC)	国内： エコカー補助金特需の反動減で下期以降減速 海外： 北米市場は堅調。中国は不買運動の影響リスクを織り込む
社会システム事業 (SSB)	上期に引続き、活発な鉄道関連の設備投資により、駅務機器の需要増加 環境関連事業では、全量買取制度の導入で企業の太陽光発電設置が拡大し、機器の設置・保守の需要増加
ヘルスケア事業 (HCB)	国内： 健康管理サービスへのニーズの増加継続 海外： 新興国での需要増は継続。 欧州市場は低調だが、ロシア好調
その他事業 (環境・バックライト・MD・電子)	環境関連は全量買取制度により、パワコン需要増加継続 バックライトはスマートフォン需要が好調で下期回復



➤ VG2020戦略実行の成果で、3%ダウンにとどめる。

(億円)

	2012年度 下期見通し	2012年度 下期計画	計画比
日本	621	638	△2.7%
米州	162	162	+0.1%
欧州	259	270	△4.0%
中華圏	195	200	△2.5%
東南アジア他 (韓国含む)	134	140	△4.3%
合計	1,371	1,410	△2.8%



2012年度 通期見通し

(億円)

	2012年度 通期見通し	通期計画 (4月26日)	計画比	2011年度 実績	前年度比
売上高	6,500	6,500	±0.0%	6,195	+4.9%
売上総利益 (売上総利益率)	2,435 (37.5%)	2,435 (37.5%)	±0.0% (±0.0P)	2,279 (36.8%)	+6.9% (+0.7P)
販管費	1,520	1,520	±0.0%	1,457	+4.4%
R&D費	455	455	±0.0%	421	+8.1%
営業利益 (営業利益率)	460 (7.1%)	460 (7.1%)	±0.0% (±0.0P)	401 (6.5%)	+14.6% (+0.6P)
営業外費用	30	30	±0.0%	66	△54.5%
税引前四半期純利益	430	430	±0.0%	335	+28.2%
純利益	285	285	±0.0%	164	+73.9%
EPS(円)	129.47	129.47	±0.0%	74.46	+73.9%
ROE(%)	8.5%	8.5%	(±0.0P)	5.2%	(+3.3P)

USDレート(円)	79.2	78.0	+1.2	79.3	△0.1
EURレート(円)	101.5	104.0	△2.5	110.3	△8.8
銅価格(円)	693	700	△7.0	738	△45
銀価格(円)	81,417	87,000	△ 5,583	92,379	△10,962



トピックス 中国/チャンスとリスク



➤中国は人件費の上昇等により、工場の自動化ニーズは加速する。



出所：上海市人的資源・社会保障局



工場の自動化ニーズますます加速

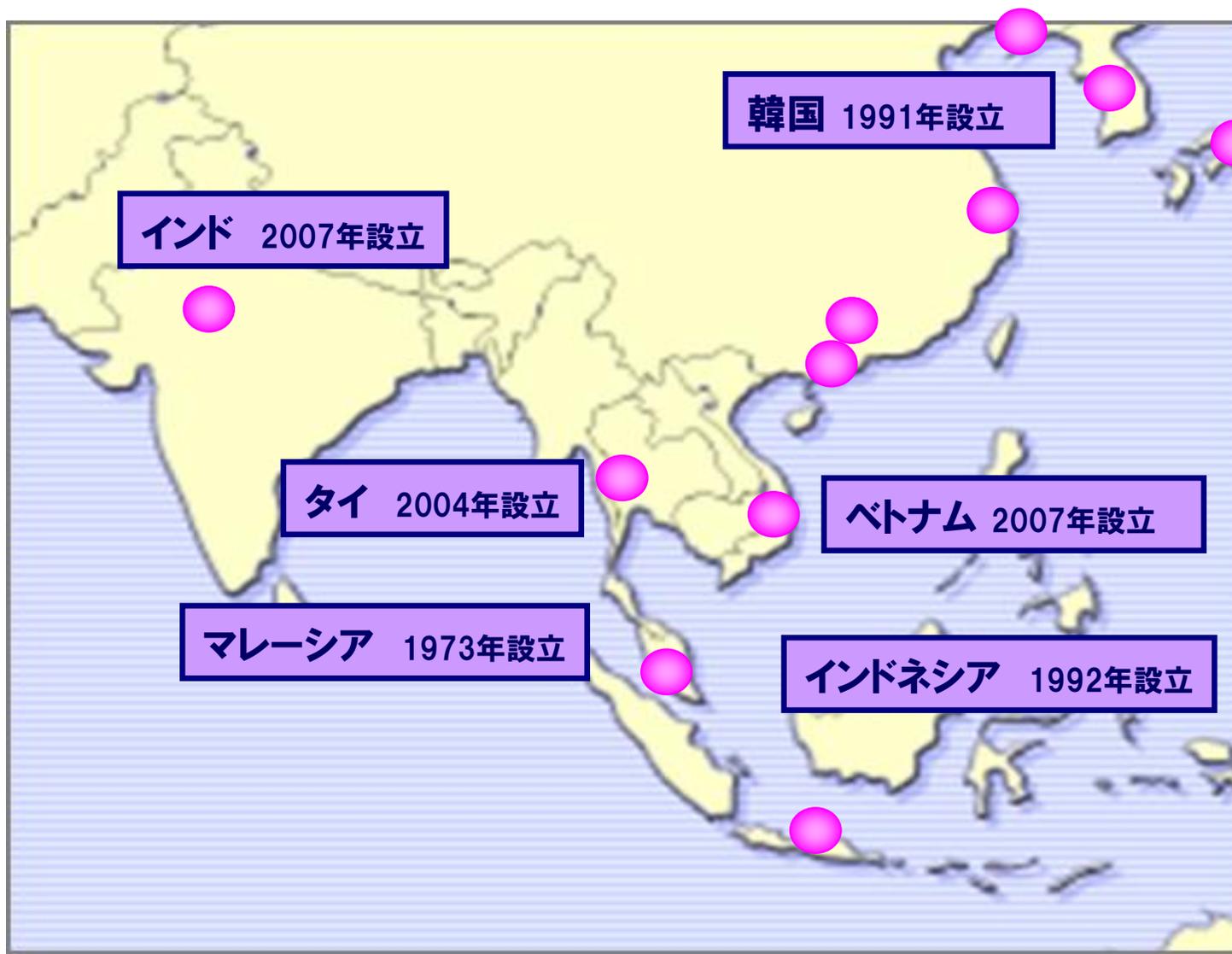


**中国での成功事例を
他の新興国へ展開**



中国リスクへの対応 <生産戦略>

➤すでに生産拠点は分散。さらに代替生産を含めてBCPを加速して実行





トピックス 新興国戦略



➤ VG戦略で掲げた新興国での売上拡大に向けた取り組みを実行中

新興国向け商品ラインアップの拡充

新興国での販売機能強化

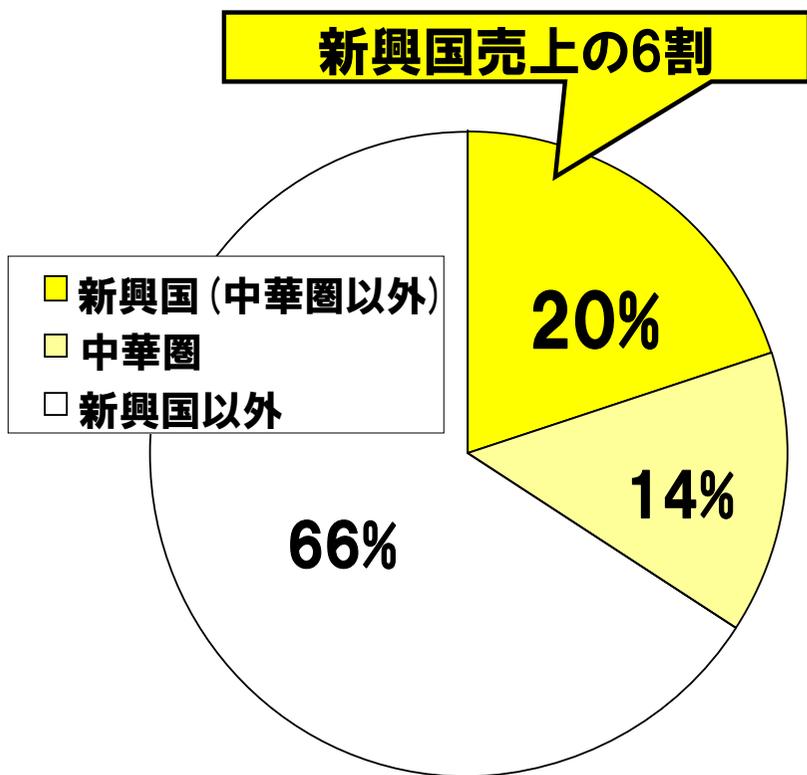
新興国でのインフラ強化



アジア新興国の開拓

➤ ヘルスケア事業を足がかりにアジア市場への進出を強化。

ヘルスケアFY12売上比率



ヘルスケア販売網



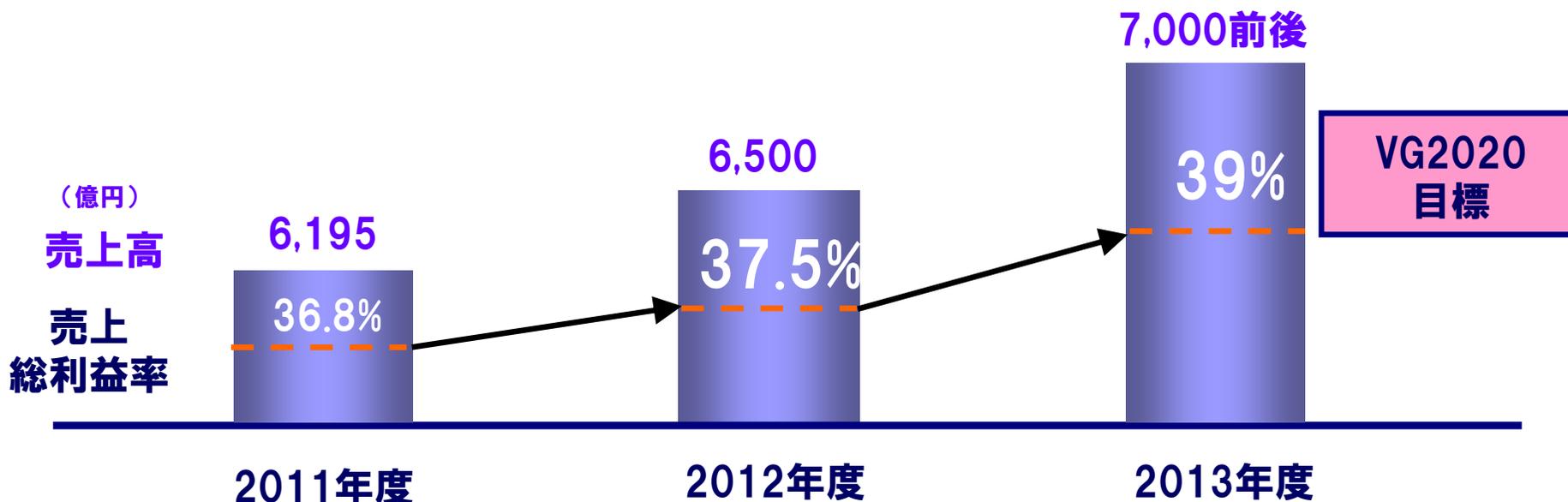


トピックス 収益構造改革



VG2020 収益構造改革

➤ 13年度の売上総利益率目標39%を目指す。



◆変動費削減 部品点数削減・プラットフォーム化が進展

◆製造固定費削減 中国・アジアでの自動化／ローコストオートメーション

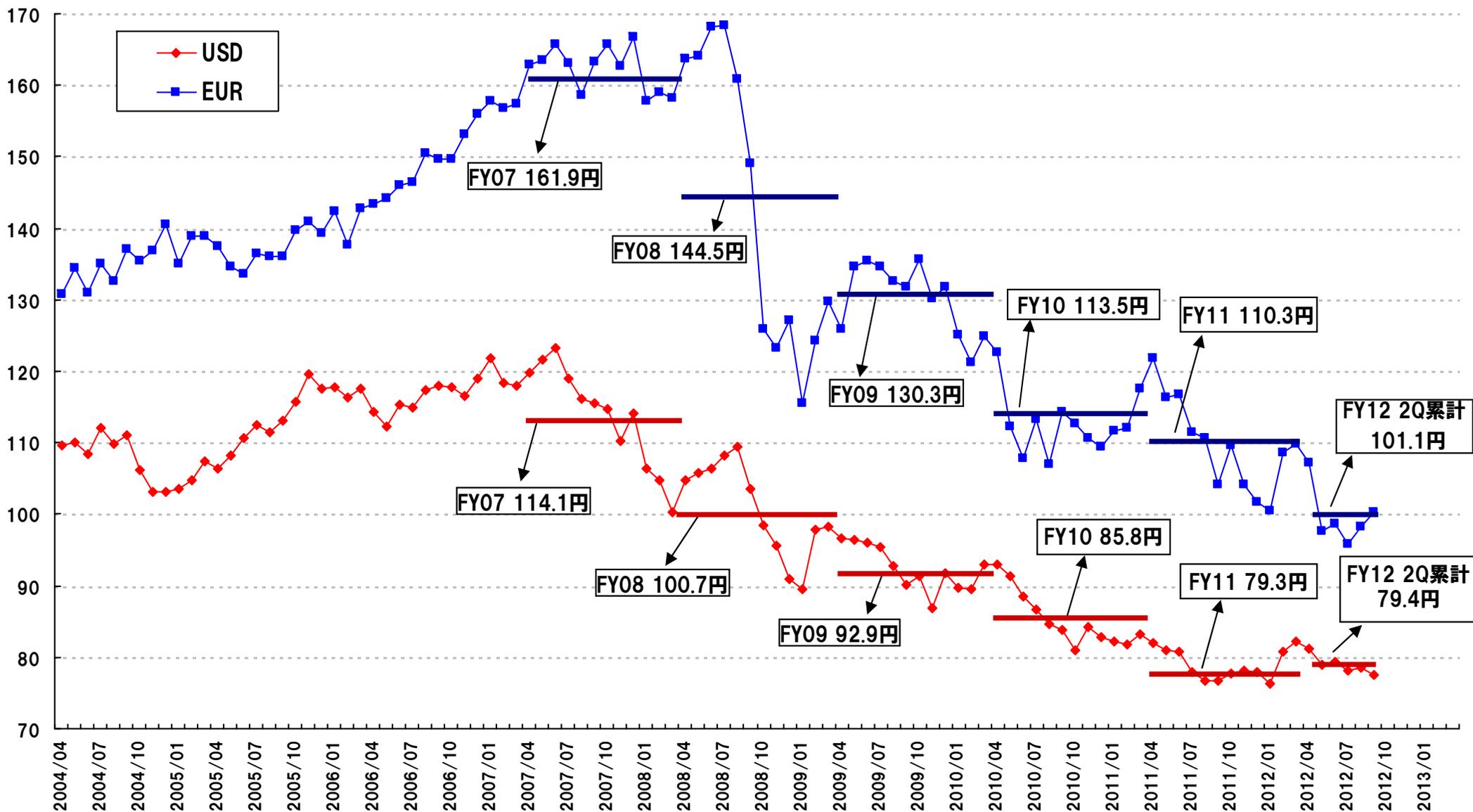


参考資料



為替レートの推移(ドル、ユーロ)

USD/EUR(円)

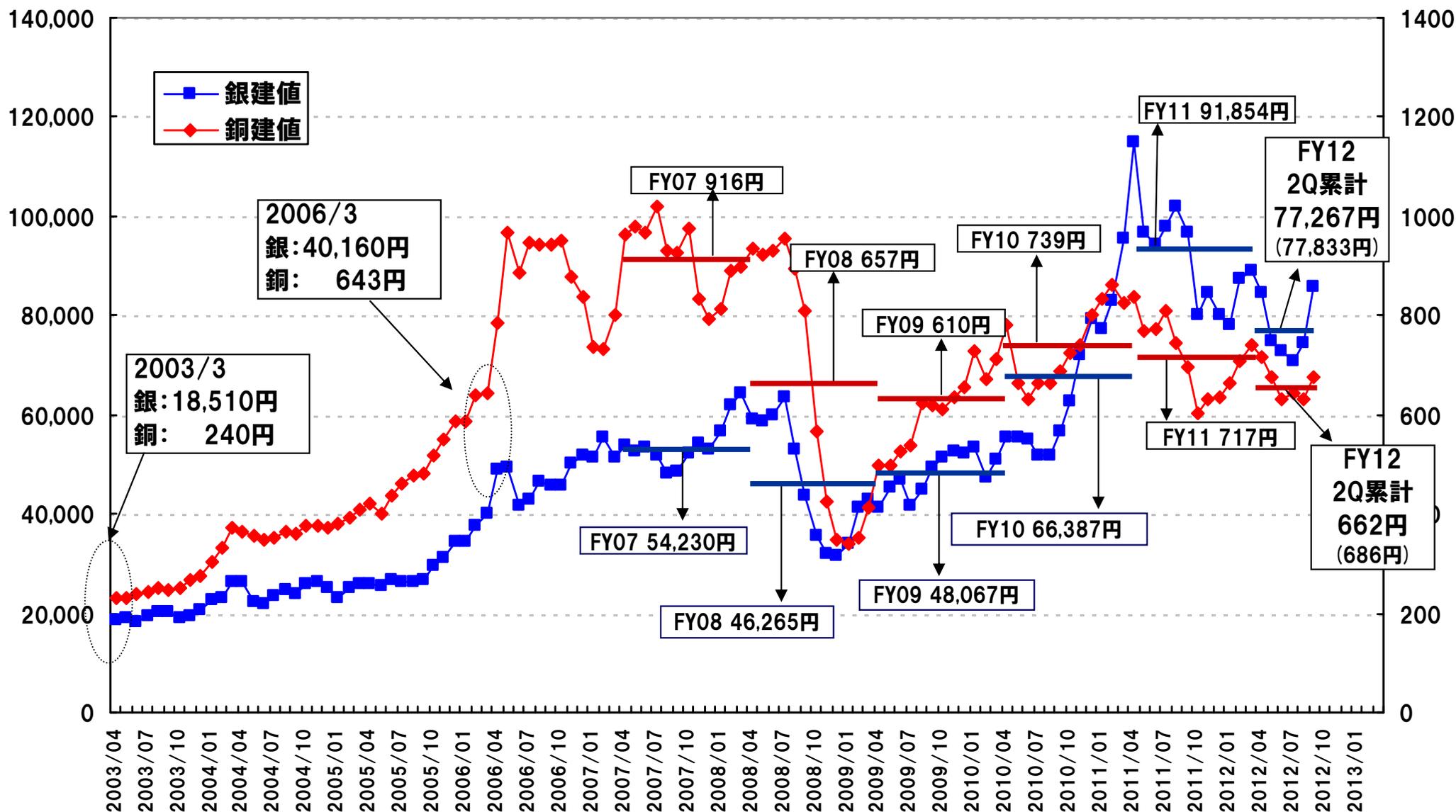




原材料価格の推移(銀、銅)

銀建値(円/kg)

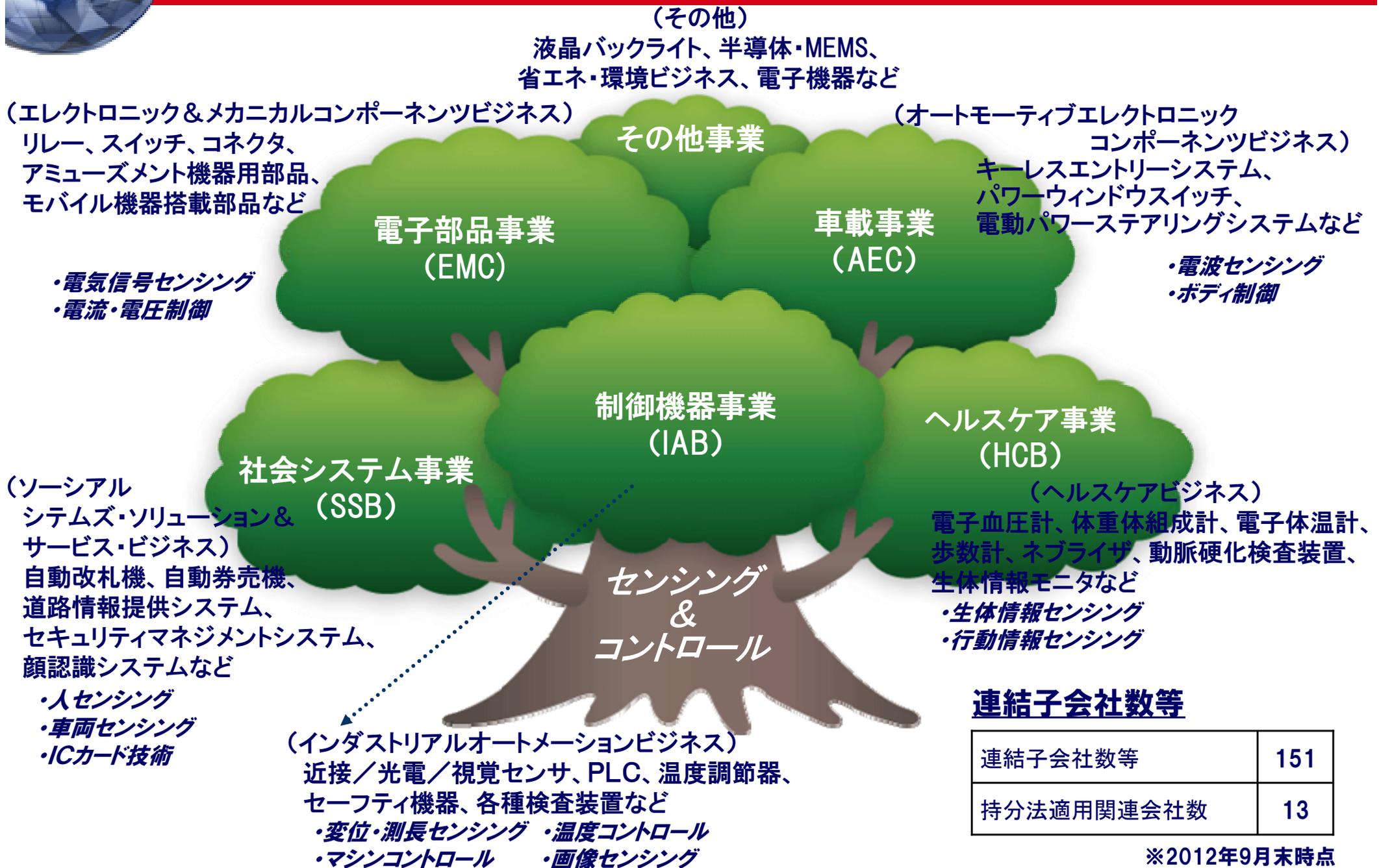
銅建値(円/kg)



※グラフ中の数値は、期中の建値の単純平均値、FY12 2Q累計のカッコ内数値は決算数値算出用の平均値



オムロンの事業内容



連結子会社数等

連結子会社数等	151
持分法適用関連会社数	13

※2012年9月末時点



<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向、(vii) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

<お問い合わせ>

オムロン株式会社

経営IR室 経営IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp